



ふ ま ど 文窓の若葉

No. 2

「自主・協同・責任」の精神で、たくましくしなやかに生き抜き、我が国と郷土を愛し夢と志あふれる心豊かな生徒の育成

特別な舞台の「一体感」という宝物



5月24日に行われた応神学園運動会。悪天候が心配される中、様々な事態を想定して幼・小・中が連携を図りながら準備を進めました。前日の雨も大きな影響はなく、当日はベストコンディションで開催することができました。たくさんの保護者、地域の皆様にお越しいただき、子供たちのはつらつな姿を披露することができました。応神中の生徒たちは応神学園の中心となって、自分たちの競技はもちろん、準備、片付け、運営にも全力を尽くして頑張りました。小学校や幼稚園の競技の際にも

声援や手拍子で応援する姿が見られ、楽しく温かい空気を作ってくれました。

まさに、「一体感」という言葉がぴったりの、素晴らしい運動会となりました。

巡視などで、運営に御協力くださった保護者の皆様をはじめ、会場で子供たちの一生懸命な姿に温かい声援をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

朝登校の日常に見つけた宝物

「おはようございます。」の声、だんだん大きくなってきました。元気な挨拶を交わすと、互いに気持ちが良くなります。

ひときわ大きな声で、遠くから笑顔で挨拶をする生徒がいます。自転車を押して横断歩道を渡るとき、止まってくれた車のドライバーに「ありがとうございます。」と会釈をする生徒がいます。朝早くから校門に立ち、「あいさつ運動」で登校する人を出迎える生徒がいます。校門周辺を丁寧に掃除して、きれいに保ってくれる生徒がいます。



応神中学校のいつもの朝の風景です。何気ない日常にも、たくさんの宝物が見つかります。もっともっと磨いて、さらにまぶしく輝かせたいと思います。



【保護者の皆様へ】～応神ファミリーが一体となって～

5月26日（火）に第1回応神学園校外指導部会、5月29日（金）には、第1回PTA本部役員会と第1回応神学園学校運営協議会が、それぞれ開催されました。

各会において、応神中学校の学校経営方針や学校の現状、PTA任意加入に伴う収入減による補正予算の確認と今後のPTA活動の在り方等、学校運営に関わる様々な課題について共有することができました。貴重な御意見をくださったPTA本部役員をはじめ関係の皆様、ありがとうございました。

これらの交流を通して、応神中学校が地域とともにあり、保護者、地域、関係機関が手を携えて、子供たちの健全な成長を心から願い見守っていることを実感します。

やがて、広い世界に巣立っていく子供たちが、故郷を愛し地域から愛されながら、夢と志をもって予測困難な時代をたくましくしなやかに生き抜いていくことができるよう、今後とも応神中学校の教育に御理解と御協力をお願いいたします。

「ルール」の意味について

私たちの社会には、守るべき法律や身に付けておきたいマナーがあります。スポーツにも競技規定があり、ルールにしたがって試合が行われます。

学校にも様々なルールがあります。一つ一つの行事や取組にも約束事や決まり事があります。

これからも皆さんは、学校生活の中でたくさんのルールを守らなければなりません。時には、ルールや決まりを窮屈に感じて、「何でこんなルールがあるんや」、「何の意味があるんや」と反発したくなるかもしれません。自分にとって守ることが難しいと感じるものもあるかもしれません。

しかし、人が一人きりで生きているわけではない以上、ルールを守るとは、どの場面でも求められます。それによって秩序は保たれ、多くの人々にとっての安全性や公平性が守られます。だから、ルールを破ることは周りの人や社会に迷惑をかけ、誰かを悲しませることになります。そして、ルールを守らない人は、信用を失い、罰を受けたり非難されたりします。



一つ、極端な例え話をします。頭の中でイメージしてみてください。

広く開けた大平原にきれいに舗装された、どこまでも続く真っ直ぐな一本の道路があります。視界をさえぎるものは何一つありません。でも、その道のある場所に何か所だけぽつんと横断歩道と信号機があるとします。自動車などの交通量は少なく、自動車が通ったとしても、気をつけていればかなり遠くから確認できそうです。あなたは、その道路を横断しようと思います。歩行者用信号は「赤」です。

信号を守って「青」になるまで待ちますか？ 車が来なかったら「赤」でも渡りますか？

車が来てなければ、渡っても安全かもしれませんが、でも、たとえその時に理解できなかったとしても、そこに信号機と横断歩道があるのには何らかの理由があったはずで、しかも、信号機と横断歩道は、間違いなく横断歩行者の命を守るためにあるものです。

話はそれますが、信号機は歩行者用が1基約100万円、3色灯の信号機は約230万円で、それぞれに2基ずつ必要なので、単純計算で660万円ほどかかることとなります。もし、さっきの例え話のような状況が実際にあったとしたら、そんなコストがかかる信号機を、意味のないところに設置するとは思えません。

皆さんはなぜそこに信号機と横断歩道があるのだと思いますか？

不必要なルールは、現状に合わせて変えていけばよいと思います。しかし、そこにルールがあるということは、理由があります。煩わしい規則や学校での決まりにも、それができた時には、必要な理由があったはずで、既存のルールを見直すときは、そもそもなぜそのルールや約束があり、今に受け継がれてきたのかを考えてみることも大切です。変えるべき不要な古い慣習なのか、守るべき大切な伝統なのか。そのルールがある意味を見極める必要があります。

今のルールがなぜあるのか、一人一人が考えてみましょう。「意味のあるルール」は、皆さんを守るためにあります。だから、ルールを守る者はルールによって守られると思います。



徳島市応神中学校

TEL 088-641-1019 電話対応 7:30~18:30 (土日祝は除く)

【学校HP】 https://school.e-tokushima.or.jp/jh_oujin

